

## 会 議 録

会議の名称	平成22年度第5回健康づくり推進協議会	
開催日時	平成23年3月10日(木) 午後1時30分～午後2時30分	
開催場所	清須市清洲庁舎 202会議室	
議題	1 開会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつ</li> <li>・ パブリック・コメントについて</li> <li>・ 健康日本21清須計画について</li> <li>・ 「健康日本21清須計画」の目標管理について</li> <li>・ その他</li> </ul>	
会議資料	会議次第 概要版 健康日本21清須計画 当日資料1 パブリック・コメントについて 当日資料2 分野別の目標指標 資料3 「健康日本21清須計画」目標管理について	
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開	
傍聴人の数 (公開した場合)	0人	
出席委員	加藤委員、深尾委員、山口委員、太田委員、川島委員、山内委員、関委員、渡邊(靖)委員、村上委員、福島委員、奥山委員、伊藤(千)委員、木村委員(師勝保健所健康支援課 谷川課長代理出席)	
欠席委員	小川(禎)委員、小川(久)委員、	
出席者	(市)	
	(他)	愛知県立大学看護学部教授 岡本 和士
事務局	大鐘部長〔健康推進課〕成田課長、田中主幹、森川課長補佐、武居副主幹、古川主任主査〔高齢福祉課〕寺社下係長	
会議の経過 《要旨》	1 成田課長あいさつ 深尾会長 あいさつ 議事進行につきまして、皆様方のご協力をよろしく申し上げます。 議事に入る前に、本日の会議録署名委員に関委員と山口委員を指名いたします。 本日は、パブリック・コメント及び健康日本21清須計画案について事務局からの説明を受けた後、委員の皆さんにご意見をお願いします。 2 パブリック・コメントについて(事務局から資料説明) 3 健康日本21清須計画案について(事務局から資料説明) 概要版 健康日本21清須計画については、5月号広報と同時に全戸配布予定です。	

谷川委員：P11～12のグラフは、文章に合わせて並び替えた方が読みやすいと思います。P13資料名を「平成17～20年度は愛知県「各がん検診の結果報告」」に変更をお願いします。P19に書いてあることが平成20年度のことだと分かるようにした方がよいと思います。P30朝食を欠食する20代男性の割合が、現状40.1%に対し、目標15%以下となっていますが目標が高くないでしょうか。P35BMIの説明があると分かりやすいと思います。P45、49「妊婦の喫煙（飲酒）も防止していくと取り組みが必要です」とあるが、市の事業方針では出産後（授乳中）も取り組むとしています。整合性を図った方がよいのではないのでしょうか。P47「妊娠届出時の喫煙と飲酒状況」の表がありますが、飲酒については「過度な飲酒の防止（アルコール）」へ記載した方がよいのではないのでしょうか。P57市の事業方針「介護予防の大切さを理解し、積極的に介護予防にとりくむよう啓発します。」は「介護予防の大切さを理解し、積極的に健康づくりにとりくむよう啓発します。」としてはどうでしょうか。検討をお願いします。P59グラフ名は「健診結果の健康づくりへの活用」とした方が分かりやすいと思います。

事務局：表現については計画内容に影響がないので、検討して修正します。

事務局：朝食を欠食する20代男性の割合を15%以下としたのは、県の中間評価での目標値が10%以下となっていました。10%以下は難しいと思ったためです。県の直近の数値は平成17年度より増加し28.4%となっています。15%以下でも目標が高いかもしれません。

深尾委員長：全ての目標値を達成できるとは思わないので、これでよいのではないのでしょうか。

事務局：概要版のライフステージ別行動指針について、たばこに関する指針が少ない気がします。意見を頂戴したいと思います。

谷川委員：職域でもたばこの取り組みが進められていくと思うので、それも入れていただいた方がよいと思います。

岡本助言者：女性の喫煙率が上がっています。妊婦の禁煙はもちろんです。中高校生でダイエットを目的に喫煙する人がいるので、若年女性の禁煙教育を積極的にする、というのを入れたらどうでしょうか。未成年に吸い、20歳過ぎたらやめるというパターンも多い状況です。喫煙する子どもをみると親が喫煙している場合が多いです。健康、教育という面から、教育委員会とタイアップして、将来母親になる若年女性へ喫煙防止策というのを入れたらどうでしょうか。

事務局：表現等は事務局に一任させていただき、いただいた意見を加味するという形でよろしいでしょうか。

委員：はい。

#### 4 「健康日本21 清須計画」の目標管理について（事務局から資料説明）

深尾委員長：⑥2「むし歯のない児童の増加」は現状値が目標値を上回っていますが、現状値の数値が間違っているのでしょうか。

事務局：すでに達成されています。変動があるので、県の目標値に合わせて設定しました。もう少し上げた方がよいでしょうか。

深尾委員長：清須市は小学生までは県平均よりよい数値で推移していますが、中学生になると県平均より悪くなっているというデータがあります。

事務局：目標は現状値以上として、96%以上や97%以上にした方がよいでしょうか。

岡本助言者：経年的に見て上がり続けているなら 100%でもよいのではないのでしょうか。

事務局：変動があります。

岡本助言者：変動の割合が小さければ、また大きくても小さくするという目的で 100%にしてしまってもよいと思います。

事務局：現状値を確認して、検討します。

深尾委員長：歯の健康は大きく分けて、むし歯がないこと、歯周病の程度を進行させないことです。歯周病の項目が1つもないので、40代、50代の進行した歯周病を有している人の割合も入れていただきたいと思います。

事務局：現状値は把握しています。しかし、県は50代の割合を目標指標から削除しており参考数値がないため、委員長と相談して決めさせていただきたいと思います。

深尾委員長：そのようにお願いします。

伊藤委員：男性の料理教室が人気です。アンケートでは「月に1回やってほしい」「地区ごとにやってほしい」という意見がありました。しかし、保健センターは保健師がいないと使えないなど規制があるので、利用できる施設を増やすために規制を緩めていただきたいです。また、資金援助もお願いしたいと思います。

岡本助言者：「健診結果を活用している人の増加」の目標値が低いと思います。20代、30代の生活習慣が悪い状況です。いかにこの人達を改善していくかという、健診結果を中心に話をしていくというのが一番やりやすいと思います。健診結果を使うということは、それだけ関心が高いということです。関心を高めるという啓発もかねて、もう少し目標を上げることで、積極的な地域の健康管理ができるのではないかと思います。若い人の健康に対する関心を高めていくという意味では、50%以上でもよいのではないかと思います。

加藤委員：平成21年度の特定健診の受診率は、協会健保が30.3%、市町村国保が31.4%、組合健保が63.3%、共済組合が65.4%となっていますが、特定保健指導実施率は市町村国保が21.5%で最も高い状況です。これは保健師が強く声かけをした結果だと思います。共済組合は健診受診率は65.4%と高いが、特定保健指導実施率は9.4%と非常に低い状況です。協会健保は相変わらず低いです。組合健保でも12%前後です。健診はするけれども、その結果の評価までは手が回っていないというのが実情で、市町で対応できることと、企業で対応できることは分かれていますので、難しいところがあります。活用という点では市町村でも何か方向性を出していかないと、実効性を高める手段としてはなりにくいということがあると思います。

事務局：「健診結果を活用する人の増加」については、目標を高く、50%以上で設定させていただきたいと思います。

#### 岡本助言者総括

分かりやすくよい計画ができたと思います。作ったことでやっとスタートラインに立てた状況です。これをいかに運用していくか、いかにゴールにもっていくか。ロードマップと各分野でどこがどういうことをして全体を盛り上げていくかというような、地域全体の連携と取り組みを具体的な計画としてやっていくということが大事です。推進する時にどうしても、この部分の人はやっても、この部分の人はよく理解していないということがあるので、いかに三角形の下の方まで浸透させていくかという啓発活動と連携をすれば、かなり効果が出ると思

います。

本当によい計画だと思う。集まれた方の知恵の結集だと思います。あとは、いかに集まれた方がそれぞれの分担のところできり組んでいただけるか、色々と相談していただきながら連携を図っていただけるとよいかと思います。

## 5 その他

「健康日本 21 清須計画」の推進に向けて協力依頼、P68 のネットワークについて事務局から資料説明  
(質疑なし)

### 市長あいさつ

日頃は皆さまには健康づくりを始め、市の色々な面でご協力いただき、お礼申し上げます。昨年 8 月から 5 回にわたり、色々なご意見、ご提言をいただきありがとうございます。

清須市では 3 月の市議会が開催されており、平成 23 年度の予算やそれに関連する条例等を提案し、審議していただいている。今年的一般会計について言うと、合併して 5 年が経過するが、今までで最も高い 210 億 4 千万円という予算がついた。伸びは約 9%、17 億円ほど。伸びの半分以上は、医療、介護、国保へ繰り出すお金、いわゆる社会保障費が占めている。これは年々増えている。市内には類似公共施設が多くあるので整理をして、維持費や人件費を適正化し、浮いた財源があるが、それでも足りない状況。基金をつぶしたり、赤字地方債を借りながら予算編成ができた。社会保障費をいかに削減していくか、健康になっていただいて、医者にかからないように、介護を必要としないように、ということに力を入れたい。この計画を具体的に実行することが大事だが、それぞれの立場で支援や協力をしていただかないと、行政だけでは浸透しないと思う。医療費等が削減できれば、清須市がめざしている、安全・安心・元気なまちづくりにつながっていくと思うので、今後ともご協力をお願いします。

話は変わるが、清須は NHK 大河「江」のゆかりの地として、清洲城の下に江のドラマ館をつくった。3 月 20 日～11 月末日まで開館する。ぜひ来ていただいて、また PR もしていただいて事業を盛り上げていただきたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

・次回は平成 23 年度に 2 回の開催を予定

以上

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためここに署名します。

署名委員

関 幹 雄 ㊟

山 口 富美代 ㊟

会議の結果	審議に関する事項はなし
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線4056